



医療等専門家と非専門家をコミュニケーションでつなぎ
信頼と納得でよりよい社会を築く



豊島区国際アート・カルチャー特命大使自主企画事業

医療コミュニケーションと患者・市民参画

主催：一般社団法人マイインフォームド・コンセント(MIC)
後援：豊島区

開催日 2021年3月7日(日)

「いのちを支えるアート・カルチャー」

開場：12時30分 開会：13時 閉会：16時45分

会場：としま区民センター6階会議室(参加無料 休憩・途中入場OK)

会場定員：30名 オンライン定員：100名 後日YouTubeでも配信予定

新型コロナウイルス感染症が日常生活を激変させた2020年3月から日々の報道に振り回され、いのちを守るためにどのように医療の情報を正しく見極めればよいかのわからないままに1年になろうとしています。専門家の言葉の本当の意味がわからない、どうすればよいかはつきりしない、なぜそんなことになるのだろうか、と疑問は尽きません。

豊島区を活動拠点とし、医療コミュニケーションを患者・市民の立場で考えてきた一般社団法人マイインフォームド・コンセントは、医療情報の利用について、専門家を講師にお招きし、豊島区の皆さんに健康文化の新たな1ページをご提案します。情報の海をどう泳いで陸にたどりつくか、一緒に考えます。

講演 各45分

日下隼人氏(元武蔵野赤十字病院副院長 医師 マイインフォームド・コンセント顧問)

「温かい医療をめざして—サービスを支えるコミュニケーション」

渡邊清高氏(帝京大学医学部腫瘍内科病院教授 医師 メディアドクター研究会幹事長)

「医療情報 どう読み解く? どう伝える? どう話し合う?」

今村恭子氏(東京大学薬学部教授 医師 一般社団法人医療開発基盤研究所代表理事)

「医療を変える患者・市民参画の学びと社会変革への期待」

シンポジウム 45分「いのちを支える社会活動(医療)と文化活動の協働を考える」

司会：佐伯晴子(マイインフォームド・コンセント理事長 医療コミュニケーション25年)
あうるへるすの会代表 豊島区国際アート・カルチャー特命大使/SDGs特命大使

お申込・お問い合わせ(内容欄にご来場かオンラインかを明記してください)

一般社団法人マイインフォームド・コンセント
ホームページ <http://myinformedconsent.jp>

